

別紙様式 1

平成 25 年度 第 2 回民間社会福祉施設職員合宿研修会受講者推薦書

標記 民間社会福祉施設職員合宿研修会の受講希望者を実施要綱に基づき
次の通り推薦いたします。

顔 写 真
(胸から上の顔写真)
縦 4.5 cm×横 3.5 cm
(パスポートサイズ)
※この写真は研修報告書の
写真として使用します。

ふりがな 受講希望者 氏 名		性別	男 ・ 女	生年 月 日	昭和 平成	年 月 日	年齢	歳
ふりがな 所属法人名		利用区分	知的・身体・精神	入所・通所				
ふりがな 法人代表者 氏 名		ふりがな 所属施設名		ふりがな 施設長名		定員		
施設の所在地	〒	施設の 電話番号	市外局番		— —			
職種又は役職名 (例)生活支援員 介護職員		社会福祉施設 通算経験年数 (3年以上のもの)		年 月				
		うち障害者等施設で主に身体障害者等の処遇に従事した経験年数 (複数施設経験の場合は合算)		年 月				
学 歴 等 最終学歴 福祉関係資格 他施設種類・ 職種の経歴								
資格の有無	介護福祉士	有・無	社会福祉士	有・無	精神保健福祉士	有・無		
平成 25 年 月 日								
_____ 県(市) _____ 部(局)長								
主 管 課 _____ 担 当 者 氏 名 _____								
電 話 番 号 _____ (内線) _____								
公益財団法人 社会福祉振興・試験センター								
理事長 多久島 耕治 殿								

(注意)ここに記載の個人情報は、公益財団法人社会福祉振興・試験センターが行う事業に使用するものであり、第三者に提供することはありません。

※ 年齢、経験年数は、研修初日現在(平成 25 年 9 月 2 日)を基準に記載してください。

グループ研究討議の希望テーマ

都道府県 指定都市		施設名	
受講希望者 氏名		職種又は 役職名	
研究討議の大テーマ（基調）			
「障害者等施設における身体障害者等の自立とは何か。個別ケアは如何にあるべきか」 をテーマ全体の基調として、以下のサブ・テーマによって研究討議する。			
希望するテーマを2つ選び、その番号を○で囲むこと。			
<p>1 入所者の生活（QOL）の向上をはかるための取組みについて</p> <p>2 施設から地域への移行（自立）のすすめ方について</p> <p>3 家族、地域、関係機関との連携のあり方について</p> <p>4 個別支援計画作成・日々の記録・業務に対する反省と評価のあり方について</p>			
<p>（備考）</p> <p>自由討議は、単に施設における取組みについての紹介ではなく、受講者として決定され別途示すグルーピングによるグループテーマに関し、実例を中心とする問題提起によってグループメンバー全員で研究討議を行うものとする。</p> <p>なお、グループ割は、当センターにおいて調整し決定するので、必ずしも希望したテーマ別グループに割り当てられないことがある。</p>			

「事例研究」様式1 個別援助事例について

- 1) 次の項目について、A4版の用紙に横書き、字数40字×30行×3～4枚でまとめること。
- 2) 各項目の字数（特に表中の項目）は、全体のバランスを考えて適宜伸縮して記入すること。

I 個別援助事例

(都道府県・市名) (施設名) (職種名) (氏名)

「題名」(事例の内容がわかるように工夫すること)

1 プロフィール ※ 個人が特定できないように配慮すること

(1) 氏名・性別・年齢	(例) Aさん・男性・67歳
(2) 入所年月	平成○年○月入所(在所期間○年○ヶ月)
(3) 入所理由	
(4) 現在の心身の状況	要介護度、認知症度、パーソナリティの傾向を含む
(5) 既往病歴	
(6) 生活歴の概要	(最終学歴・職歴・家族歴等を含む)
(7) 家族構成図	(家系図の様式。入所前の家族は点線で囲む) 女○、男□、死亡●■
(8) 施設内友人との交流関係	
(9) 趣味・クラブ活動等の参加状況	
(10) その他	(その他、事例を理解するために必要な事項等を記載すること)

2 事例の概要と、この事例を取り上げた理由

3 援助経過の要約 (この部分がメインとなるので、具体的に記述すること)

- (1) 初期の状況(問題の発生、ケアアセスメント、ケアプラン、実施結果等)
- (2) 中期の状況(その後の変化、ケアアセスメント、ケアプラン、実施結果等)
- (3) 現在の状況・今後の見通し

4 評価と反省

5 「個別支援計画」及び「週間計画表」 (別紙)

※ 個人が特定できないように配慮すること

取り上げた利用者の「個別支援計画」及び「週間計画表」を必ず添付してください。その際に氏名の欄をイニシャル化する等、個人特定ができないようにしてください。「事例研究」及び「個別支援計画と演習」の講義で使用させていただきます。

6 施設の概要 (別紙)

(1) 入所者定員		(6) ケース会議関係	
(2) 入所者現員		・参加職種	
(3) 職員数		・参加人員	
(4) 居室の状況		・開催回数	
(5) 日課の特徴		(7) その他施設の特徴	

「事例研究」様式2 集団援助事例について

(グループ活動、地域福祉支援活動、施設処遇体制改善活動等)

- 1) 必ずしもグループワークの事例でなくても、利用者の生活援助、地域福祉支援のために行った委員会活動等の事例でもよいこと。
- 2) 次の項目について、A4版の用紙に横書き、字数40字×30行×3～4枚でまとめること。
- 3) 各項目の字数(特に表中の項目)は全体のバランスを考えて適宜伸縮して記入すること。

II 集団援助事例

(都道府県・市名) (施設名) (職種名) (氏名)

「題名」(事例の内容がわかるように工夫すること)

1 グループ活動等の名称

2 この活動を取り上げた理由

3 活動経過の概要 (この部分がメインとなるので、具体的に記述すること)

- (1) 初期の状況(ニーズの調査、動機づけ、活動の計画等)
- (2) 中期の状況(メンバーの状態、活動の経過、その他)
- (3) 後期の状況(結果と終結)

4 評価と今後の課題

5 「個別支援計画」及び「週間計画表」 (別紙)

※ 個人が特定できないように配慮すること

取り上げたグループワーク等にかかわる利用者のうち1名分の「個別支援計画」及び「週間計画表」を必ず添付してください。その際に氏名の欄をイニシャル化する等、個人特定ができないようにしてください。

「事例研究」及び「個別支援計画と演習」の講義で使用させていただきます。

6 施設の概要 (別紙)

(1) 入所者定員		(6) ケース会議関係	
(2) 入所者現員		・参加職種	
(3) 職員数		・参加人員	
(4) 居室の状況		・開催回数	
(5) 日課の特徴		(7) その他施設の特徴	

*その他、レポート作成上の留意点

- (1) 文体は、常体にすること。(「・・・だ・・・である。」)
- (2) 「見出し」番号及び行空けは、各項ごとに次の通りにすること。
 - ・ 1 (算用数字) -----大見出し
(注)書き始めの場合を除き、上2行及び、下1行を空欄にすること。
 - ・ (1) -----中見出し
(注)上1行を空欄にすること。
 - ・ 1) -----小見出し
(注)上1行を空欄にすること。
 - ・ 以下、①、①-1、の順序にすること(これらの場合も、上1行を空欄にすること)。